

事業評価シート（平成20年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	リサイクルプラザ工場部門管理運営改善事業		
事業担当	環境部 資源循環課		
予算科目	01-040202-030000	事業種類	<input type="radio"/> ハード <input checked="" type="radio"/> ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	03	③〈利便性〉誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	02	2 市民ニーズに合った公共施設の適正な管理と運営を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	平成19年度～平成21年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
リサイクルプラザ工場部門が民間活力の活用により、管理運営されています。		リサイクルプラザ工場部門の管理運営手法を改善するため、長期にわたって包括的に民間への委託を図ります。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績								
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	包括的民間委託に向けた進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19年度：事業スキームの検討等55%、H20年度：事業者選定等44%、H21年度：本契約1%							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績		55	99	100				
成果指標②	指標名	運営管理経費の削減額						単位	千円
	説明・算定式	短期委託額－包括委託額 (現状：1年単位で委託)							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標実績		－	－	1,500				
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
包括的民間委託を実施するためアドバイザー業務を委託するとともに、事業者を公募し、ヒアリングなどを行い優先交渉権者を選定しました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	効率的にリサイクルプラザ工場部門の管理運営を行うため、必要性が高いです。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	当該事業を継続することにより、機械プラント類の維持管理・修繕等が効率よく図られ機械設備の長寿命化及び安定した生産性の維持が見込まれます。	● 高 ○ 低
妥当性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	資源再生物を長期に渡り中間処理し、資源化を円滑に実施でき妥当性は高いです。	工場部門の運転管理を長期に渡る包括的民間委託によりコストの削減を図り、効率的な事業展開が図られます。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	今後に向けた課題の分析 工場部門の包括的民間委託に関して、モニタリングを行い適正に業務が行われているかの確認をする必要があります。			

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			実施方針、発注図書等作成に伴う検討	事業者選定等に伴う検討	包括的民間委託			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	9,986	6,962	265,600	0	0	0
事業費 (A)		0	9,986	6,962	265,600	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	1.20	1.20	1.20	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	10,070	10,070	10,028	0	0	0
フルコスト (A+B)		0	20,056	17,032	275,628	0	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 平成22年度には包括的民間委託の導入もされ、乖離請求期間も終了することから、事業の目的は達成され終了とすることが妥当です。	
平成22年度取組方針	
課長コメント	包括的民間委託を期にモニタリングを行う。内容の認識と判断の適切化を学習し、良好な処理作業を確保しつつ、能率化、効率化を追及していきます。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		包括的民間委託導入検討委員会(庁内組織)を開催するとともに、包括的民間委託を円滑に進めるために、有識者などで組織する「包括的民間委託事業者選定委員会」の設置及び同委員会を開催した。また、包括的民間委託を実施するためアドバイザー業務を委託し、事業者を公募するのに必要な「実施方針」を作成した。これらにより計画どおり事業を進めることができた。	包括的民間委託を実施するためアドバイザー業務を委託するとともに、事業者を公募し、ヒアリングなどを行い優先交渉権者を選定しました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		必要性、有効性、妥当性、効率性の評価は高く工場部門の包括的民間委託を実施すべく継続して行く。	工場部門の包括的民間委託に関して、モニタリングを行い適正に業務が行われているかの確認をする必要があります。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	終了
取組方針		包括的民間委託を実施するとともに、モニタリングを行う。	
事業区分	—	実施計画事業／行政改革事業	—

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

事業評価シート（平成20年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民の図書館体験事業		
事業担当	社会教育部 中央図書館		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	<input type="radio"/> ハード <input checked="" type="radio"/> ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	03	③〈利便性〉誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	02	2 市民ニーズに合った公共施設の適正な管理と運営を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
市民が図書館業務に理解と関心を持つことにより、市民と協働で図書館運営を行っています。		市民が図書館業務を理解し、関心と意欲を持てるようにするため、図書館業務の体験を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	図書館体験事業実施回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		27	28	28	28	28	28	
	実績		26	26					
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	図書館体験事業参加者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		206	220	225	225	225	225	
	実績		219	234					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
小学生を対象に「1日図書館員」を実施し、図書館業務に対して理解と関心を深めることができました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	市民との協働による図書館運営を目指すものであり、運営者である図書館側から市民へ発信する必要があります。
有効性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	将来協働して図書館運営を行うため、継続して事業を実施し、市民が図書館業務に理解と関心を示すのに有効です。	● 高 ○ 低
妥当性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	対象としては、現在「1日図書館員」としての小学生のみを対象に実施しているが、中学生から社会人までの体験・講座が必須となります。	○ 高 ● 中 ○ 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	将来的に市民と協働して運営していくための事業であるので現時点では参加・参画にとどまっています。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 現在実施している「1日図書館員(小学生対象)」だけでなく、広く市民(中学生から社会人)を対象とした体験や講座についても開催していく必要があります。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			一日図書館員、図書館を 知ろう講座等の実施	一日図書館員、図書館を 知ろう講座等の実施	一日図書館員、図書館を 知ろう講座等の実施	一日図書館員、図書館を 知ろう講座等の実施	一日図書館員、図書館を 知ろう講座等の実施	一日図書館員、図書館を 知ろう講座等の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費(A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率(%)		—	—	—				
内訳	職員(人)	0.00	1.65	1.65	1.83	1.83	1.83	1.83
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費(B)		0	13,846	13,846	15,292	15,292	15,292	15,292
フルコスト(A+B)		0	13,846	13,846	15,292	15,292	15,292	15,292

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 対象を小学生から社会人まで拡大して実施します。	
平成22年度の実行方針	
小学生対象の「1日図書館員」に加え、広く市民(中学生以上・一般社会人)を対象にした体験・講座を実施します。	
課長コメント	小学生対象の「1日図書館員」は応募者がたいへん多いので、これに加え、新たに中学生、高校生や一般社会人などを対象にした図書館業務の体験などを実施し、市民が図書館業務を理解し、関心と意欲を持てるようにしたいと考えています。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		小学生を対象に「1日図書館員」を実施し、図書館業務に対して理解と関心を深めることができた。	小学生を対象に「1日図書館員」を実施し、図書館業務に対して理解と関心を深めることができました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		現在実施している「1日図書館員（小学生対象）」だけでなく、広く市民（中学生から社会人）を対象とした体験や講座についても開催していく必要がある。	現在実施している「1日図書館員（小学生対象）」だけでなく、広く市民（中学生から社会人）を対象とした体験や講座についても開催していく必要があります。
事業の方向性	—	拡大して継続	拡大して継続
取組方針		小学生対象の「1日図書館員」に加え、広く市民（中学生以上・一般社会人）を対象にした体験・講座を実施していく。	小学生対象の「1日図書館員」に加え、広く市民（中学生以上・一般社会人）を対象にした体験・講座を実施します。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。